

## ご先祖さまとの「絆」

KIZUNA

平成二十三年三月十一日、未曾有の大被害をもたらした東日本大震災から半年が過ぎようとしています。

大震災以前の日本では「無縁社会」という言葉を取り沙汰されていました。しかし大震災以降、一転して「絆」という言葉が非常に注目されています。

「絆」という言葉は、動物などをつなぎとめておく綱という意味の他に、家族・友人などの結びつきを離れがたくつなぎとめているもの、という意味があります。東日本大震災において、今もなお続いている義捐金・支援物資の提供やボランティア活動は、被災者との「絆」を結ぶ行為であると思います。また「絆」は私たちが協力し合い、支え合って生きていいくことだけでなく、ご先祖さまに対しても同じ事が言えるのではないかでしょうか。

今年も秋のお彼岸の季節がやってきました。秋のお彼岸は、秋分の日を挟んだ前後三日の計七日間を指します。お彼岸には、ご先祖さまを敬い、感謝し、そしてご供養するために、お墓参りやお寺へのお参り等をされる方が大勢いらっしゃると思います。

このお彼岸には、なによりも、本門八品上行所伝本因下種の南無妙法蓮華経とお唱えすることで、ご先祖さまとの「絆」を確かめ合うお彼岸にしてみませんか。

なぜなら、ご先祖さまがいなければ私達は今現在、存在していないのですから。